

令和7年度（2025年度）

横須賀市立追浜中学校

# 年間指導計画

## 2学年



# 年間指導計画の見方

## 1. 単元名と指導事項

- 各教科で学ぶ単元名を記載しています。
- 単元でどのようなことを学び、どのような力を身につけて欲しいか(=指導事項)を観点別に記載しています。

## 2. 学習教材と学習時期

- 単元でどのような教材(教科書の内容)を使用するかを記載しています。
- 各単元がどの時期(前期・後期)に学習するのかを記載しています。

## 3. 各観点について

- 「知識・技能」「思考・判断・表現」については指導事項の欄を参考にしてください。
- 「主体的に学習に取り組む態度」については、単元全体を通して、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価をします。
- 各単元の詳細については、授業で配布される「学びのプラン」を参考にしてください。



2年社会科 年間指導計画				学習教材																					
				前期								後期													
領域	単元	観点	指導事項	日本の地域的	九州地方	中国・四国地方	近畿地方	中部地方	関東地方	東北地方	北海道地方	地域の在り方	中世の日本	天下統一への歩み	幕府体制の確立と鎖国	幕府の改革と政治の終わり	開国と幕府政治の終わり	明治維新と立憲国家への歩み	激化する東アジアと日清・日露戦争	近代の産業と文化の発展					
地理	日本の地域的特色と地域区分	知識技能	日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。	○																					
			少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解すること。	○																					
			日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること。	○																					
			国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解すること。	○																					
			「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解すること。	○																					
地理	日本の諸地域	思考判断表現	日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けること。	○																					
			「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現すること。	○																					
			日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらに関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。	○																					
			幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。		○	○	○	○	○	○	○	○	○												
			①自然環境を中核とした考察の仕方②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方③産業を中核とした考察の仕方④交通や通信を中核とした考察の仕方⑤その他の事象を中核とした考察の仕方」の考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。		○	○	○	○	○	○	○	○	○												
歴史	中世の日本	思考判断表現	日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。		○	○	○	○	○	○	○														
			地域の実態や課題解決のための取組を理解すること。										○												
			地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること。											○											
			地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。												○										
			知識技能	民衆の成長と新たな文化の形成について理解する											○										
歴史	近世の日本	思考判断表現	武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること										○												
			中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること											○											
			ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解すること。														○								
			江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解すること。														○	○							
			産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解すること。																○						
歴史	近代の日本と世界	思考判断表現	社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解すること。																						
			交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、知識・技能の(ア)から(エ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。													○	○								
			近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。													○	○	○							
			欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解すること。																	○					
			開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解すること。																	○					
歴史	近代の日本と世界	知識技能	自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解すること。																○	○	○				
			我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解すること。																	○	○				
			第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解すること。																			○			
			経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解すること。																				○		
			工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、知識・技能の(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。																			○	○	○	
歴史	近代の日本と世界	思考判断表現	近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。																	○	○	○			
																					○	○	○		



2年理科 年間指導計画				学習教材													
				前期						後期							
				成り立ち	物質の化学変化	酸素がかわる化学変化	物質の質量と化学変化	化学変化とそれの利用	生物と細胞	植物の体のつくりとはたらき	動物の体のつくりとはたらき	刺激と反応	気象の観測	雲のでき方と前線	大気の動きと日本気象	静電気と電流	電流の性質
領域	単元	観点	指導事項														
化学分野	化学変化と原子・分子	知識技能	化学変化の実験を行い、実験に関する技能を身に付けること。	○	○	○	○	○									
			物質の分解、原子・分子について理解すること。	○													
			化学変化は化学反応式で表されることを理解すること。		○												
			化学変化における酸化と還元について理解すること。			○											
			化学変化と質量の保存、質量変化の規則性について理解すること。				○										
	化学変化には熱の出入りが伴うことを理解すること。					○											
	思考判断表現		化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現すること。	○	○	○	○	○									
生物分野	つくりとからだの生物	知識技能	生物の組織などの観察を行い、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。							○	○						
			生物の体が細胞からできていること、植物と動物の細胞のつくりの特徴を理解すること。						○								
			植物の体のつくりと光合成、呼吸、蒸散の働きに関する実験の結果とを関連付けて理解すること。						○								
			動物の体とつくりと仕組みを観察、実験の結果などと関連付けて理解すること。							○							
			動物が刺激に適切に反応している仕組みを、体のつくりと関連付けて理解すること。								○						
		思考判断表現		生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。						○	○	○	○				
地学分野	天気とその変化	知識技能	気象要素として、気温、湿度、気圧、風向などを理解すること。									○					
			霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化について理解すること。										○				
			日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害について理解すること。											○			
			思考判断表現		圧力は力の大きさと面積に関係があることを見だし、大気圧と関連付けて理解すること。								○				
			天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだすこと。								○	○	○				
物理解分野	電気の世界	知識技能	電流に関する観察や実験を行い、観察・実験に関する技能を身に付けること。												○	○	○
			静電気と電流の性質について理解すること。												○		
			電圧と電流の関係、電気抵抗、電力について理解すること。													○	
			電流と磁界について理解すること。														○
		思考判断表現		電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだすこと。										○	○	○	

2年音楽科年間指導計画				学習教材									
				前・後期		後期			前・後期				
				歌唱	合唱	S R ・ A R	箏	三味線	和太鼓	リズム創作	旋律創作	鑑賞	楽典
領域	単元	観点	指導事項										
A 表現	歌唱・合唱	知識技能	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを考える	○	○								
			声の音色や響き及びことばの特性と曲種に応じた発声について知る	○	○								
			創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける	○	○								
			創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける	○	○								
	思考判断表現	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現の創意工夫を考える	○	○								○	
	器楽	知識技能	曲想と音楽の構造との関わりについて知る			○							
			楽器の音色や響きと奏法との関わりについて知る			○		○					
			創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法・身体の使い方などの技能を身に付ける			○							
			創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける			○							○
	思考判断表現	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現の創意工夫について考える			○								
	創作	知識技能	音のつながり方の特徴について知る							○	○		
			音素材の特徴及び音の重なり方や反復・変化・対照などの構成上の特徴について知る							○	○		○
創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける									○	○			
思考判断表現		創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら創作表現の創意工夫をし表現につなげる							○	○		○	
B 鑑賞	鑑賞	知識技能	曲想と音楽の構造との関わりについて知る	○	○	○		○		○	○	○	○
			音楽の特徴とその背景となる文化や歴史・他の芸術との関わりについて知る	○				○	○			○	
			我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について学ぶ	○				○	○			○	
		思考判断表現	曲や演奏に対する評価とその根拠について考える	○	○	○		○		○	○	○	○
			生活や社会における音楽の意味や役割について知る	○	○	○		○				○	
			音楽表現の共通性や固有性について知る	○	○	○		○		○	○	○	○
共通事項		知識技能	音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解し表現へとつなげる	○	○	○		○		○	○		○
		思考判断表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える	○	○	○		○		○	○		○

2年美術科 年間指導計画				学習教材				
				前期			後期	
				色彩の基本	グラフィックデザイン	浮世絵	動画	染色
領域	単元	観点	指導事項					
	デザイン・工芸	知識技能	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。		○		○	
			材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表すこと。		○		○	○
			形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。	○	○			○
		思考判断表現	構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。					○
			伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。		○		○	
			使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。					○
B鑑賞	造形美的なよさ・	知識技能	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。	○	○			
		思考判断表現	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。			○	○	
	見方・感じる方を	知識技能	目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感知取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。		○			
			造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。			○		
		思考判断表現	身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感知取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。					○
			日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。			○		







2年英語科 年間指導計画			学習教材							
			前期				後期			
			Unit 0	Unit 1 海外旅行	Unit 2 食文化	Unit 3 職業	Unit 4 国際交流	Unit 5 ユニバーサル デザイン	Unit 6 調査と発表	Unit 7 世界遺産
領域	観点	指導事項								
聞くこと	知識技能	強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。	○							
		自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。		○				○		
		話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。								○
	思考判断表現	質問や依頼などを聞いて適切に応じること。					○			
まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。					○		○			
話すこと	知識技能	強勢、イントネーション区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。					○			
		つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。			○			○		
	思考判断表現	聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどをする事。				○		○	○	
		自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。	○				○			
		与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。	○	○					○	
読むこと	知識技能	文字や符号を識別し、正しく読むこと。		○						
		物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。			○			○		
	思考判断表現	書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。				○				
		伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。				○				
		話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。					○			
書くこと	知識技能	文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して書くこと。					○			
		語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。				○			○	
	思考判断表現	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。			○					
		身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。	○		○					
		自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりに注意して文章を書くこと。				○	○			